

子どもたちの健やかな成長のため

小野町要保護児童対策地域協議会・代表者会議

小野町要保護児童対策地域協議会・代表者会議が6月28日、子育て支援課キッズルームで行われ、役職改選などにより変更のあった委員に対し委嘱状が新たに交付されました。

この協議会は、児童虐待の予防や早期発見、早期対応のために関係機関との連携、調整を行う役割を担っています。代表者会議は児童福祉や教育・保健医療・警察署など地域の関係機関の代表者により構成されます。

会議では町や県内における要保護児童などの状況や子育て支援事業、関係機関の情報を共有し、子どもたちの健やかな成長を見守り、適切な相談や支援ができるように確認しました。

町関係者以外の委員の方々は次のとおりです。(敬称略)

■小野町要保護児童対策地域協議会委員(任期：平成28年4月1日から平成30年3月31日まで)

高木 昌彦(県中児童相談所長)

服部 祐一(田村警察署小野分庁舎所長)(新任)

笹原 賢司(県中保健福祉事務所長)(新任)

石塚 尋朗(田村医師会長・石塚医院長)

荻野 和美(小野町民生委員協議会長)(新任)

橋本 幸夫(小野町小中学校長会長)(新任)



委嘱状交付の様子

新たな認定農業者・農業の担い手を応援

農業経営改善計画認定書および 新規就農者支援金交付式

会田雄一さん(飯豊中)に対する農業経営改善計画認定書交付式が7月12日、役場で行われました。

この農業経営改善計画には、農業経営のプロを目指す農業者の5年先を見据えた経営改善計画が掲げられており、これを町が認定し、各種農業関係機関や農業委員会がともに支援するもので、今回の計画には、肉用牛(繁殖)経営の規模拡大を目指す計画が盛り込まれています。

また同日、國分基宏さん(小戸神)に対する夢のある農業者育成推進事業(新規就農支援事業)の支援金交付式が併せて行われました。

この事業は、新規就農者の就農初期の負担軽減と、将来の夢のある農業担い手としての成長を期待して、就農後1年から3年を経過した方に対し、町から支援金を交付するものです。

國分さんは平成27年6月25日付けで認定新規就農者に認定され、このたび満2年を迎えられました。農業従事者の高齢化や担い手不足が深刻化する中で、やる気と能力のある農業者の先駆者として、会田さんと國分さんのご活躍を期待します。

なお今回の認定で町内の認定農業者は37人となりました。



左から先崎小野町認定農業者会長、会田さん、國分さん、町長、長谷川小野町担い手育成総合支援協議会長